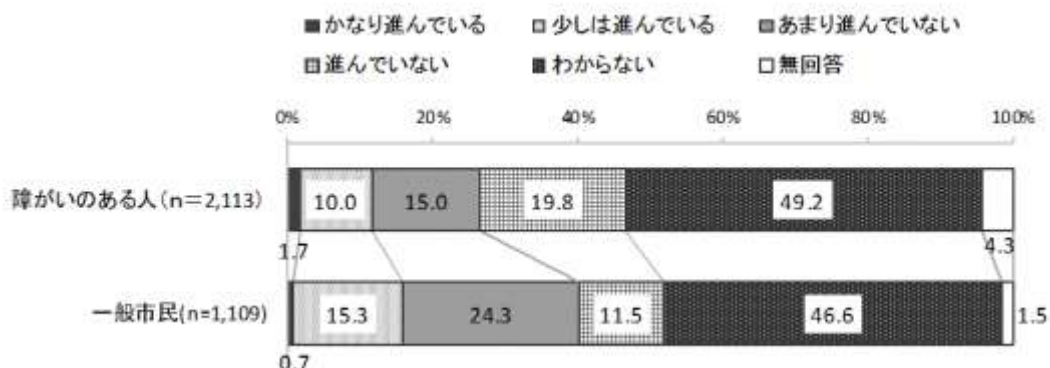


## ○ 市民アンケート調査の結果【概要】

「令和元年度障がい福祉に関する市民アンケート調査」より  
 調査期間：R1.12.17（火）からR2.1.8（水）まで  
 調査対象：市内にお住まいの障がいのある人 5,000 人、障がいのない人 3,000 人  
 有効回収：障がいのある人 2,113 票（42.3%）、障がいのない人 1,109 票（36.9%）

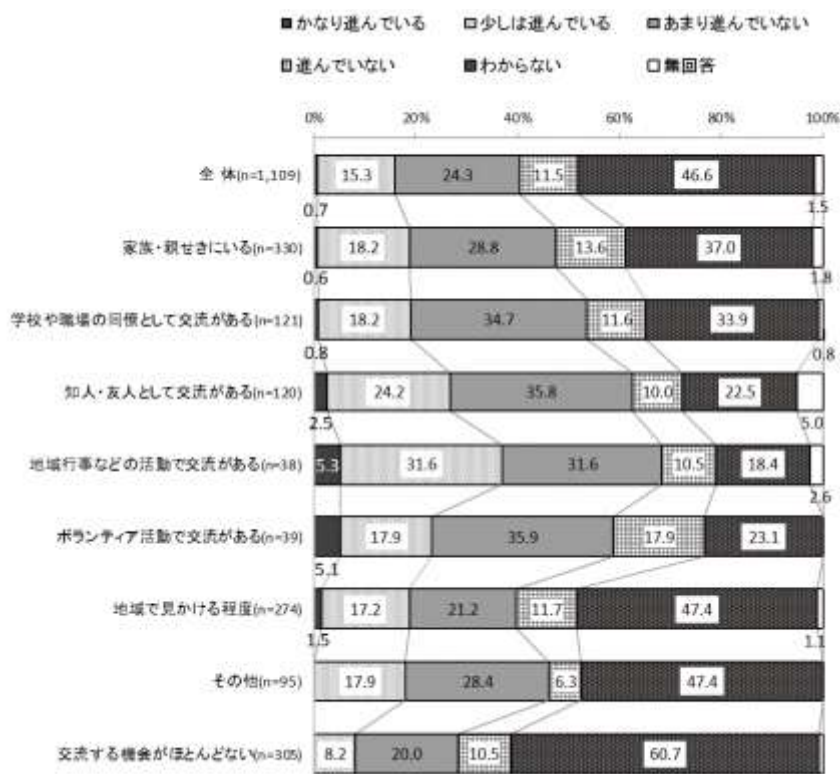
### （1）共生・理解促進に関して

#### ①地域における「共生」が進んでいると感じますか？



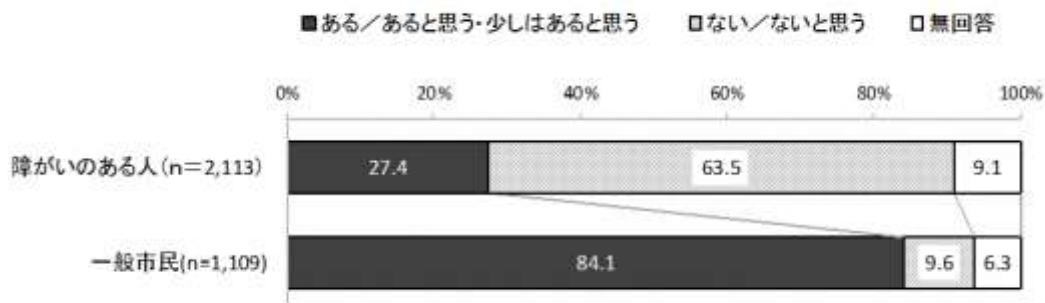
- 「地域における共生」の進捗に対する考えは、一般市民よりも障がいのある人で「進んでいない」と感じる人の割合が高くなっています。
- 地域における共生が進んでいると感じている人（かなり進んでいる・少しは進んでいる）は障がいのある人では 11.7%、一般市民では 16% となっています。（過去のアンケート結果では、H25：14.5%（障がいの有無によるわけなし）  
H28：障がいのある人 17%、障がいのない人 20.9%となっており、減少傾向となっています。）

#### <一般市民における障がいのある人との交流状況別>



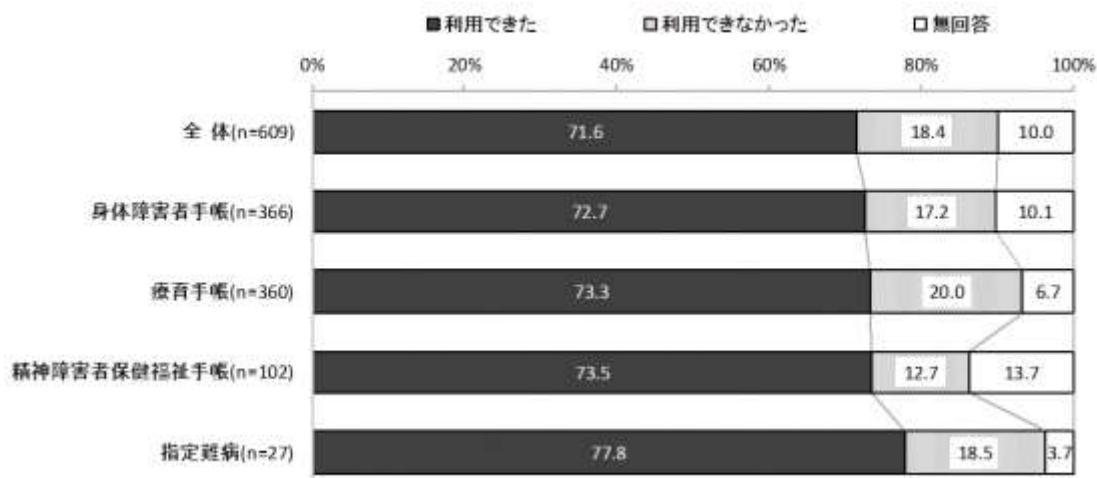
「交流をする機会がほとんどない」方よりも「地域行事などの活動で交流がある」方は共生が進んでいると感じる割合が高いことがわかります。

② 障がいのある人に対する差別や偏見があると感じますか？



- 障がいのある人よりもない人の方が、差別や偏見があると感じています。  
 「ある」と答えた人の割合は、障がいのある人で 27.4%、一般市民で 84.1%（「あると思う」と「少しはあると思う」合計）となっています。

(2) 障害福祉サービス等の利用について  
サービスを希望通りに利用できていますか？



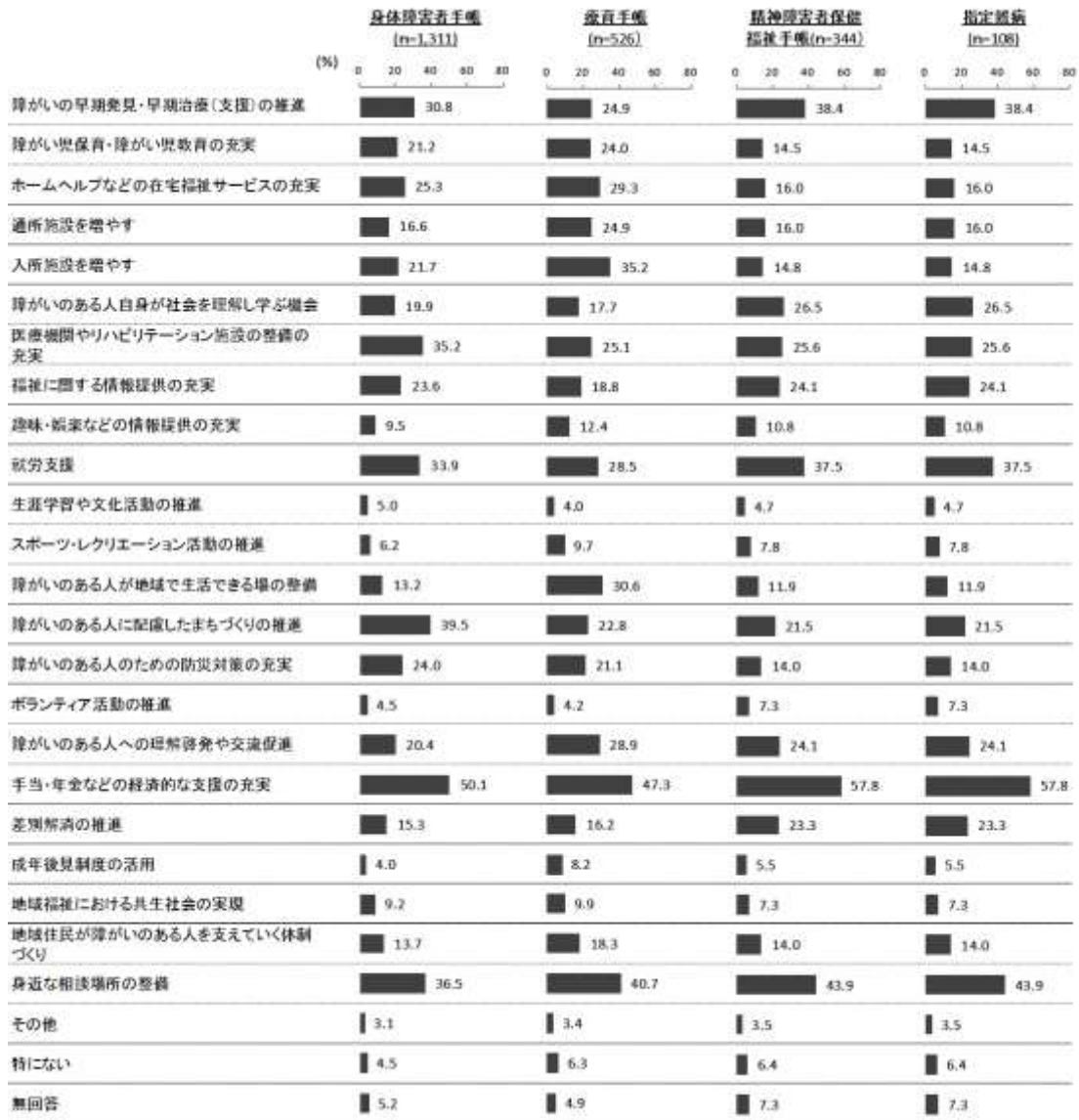
- 障害福祉サービスを利用する人の70%は希望通りに利用できていますが、希望通りに利用できなかったと感じている人も20%程度います。

希望通りに利用できなかったサービスや主な要因

- ・利用できなかったサービスでは「短期入所」が 42.9%で特に高い結果となっており、次いで、「移動支援」が 17.9%、「居宅介護」が 9.8%、「日中一時支援」が 9.8%となっています。
- ・利用できなかった理由としては、「定員に空きがなく、またはホームヘルパーの確保が困難なため」が 32.1%と最も高く、「土日に利用したいが、事業所が開所していない」が 13.4%、「サービスの質に不安がある」が 13.4%となっています。

### (3) 障がい者に必要な支援について

障がいのある人が安心して暮らしていくために必要なことは何ですか？

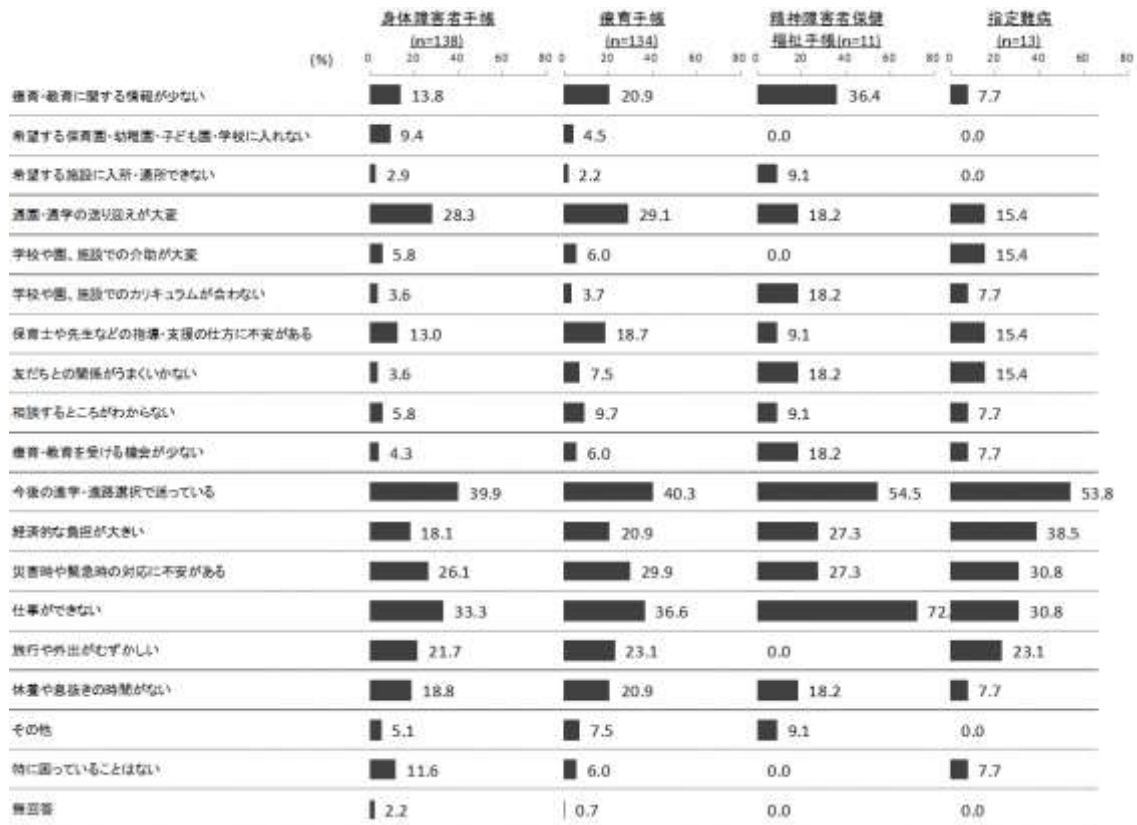


○「経済的な支援」、「身近な相談場所の整備」、「就労支援」、「医療やリハビリの充実、障がいに配慮したまちづくり」、「障がいの早期発見・早期治療の推進」等が特に高い結果となりました。

○過去の調査結果と比較すると、「障がい児保育・障がい児教育の充実」「建物や交通機関、道路など障がいのある人に配慮したまちづくりの推進」「医療機関やリハビリテーション施設の整備の充実」が高くなっている。18歳以上については、「就労支援」も増加傾向にあります。

#### (4) 障がいのある児童について

お子さんの療育・教育で困ることはどのようなことですか？



○身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者は「今後の進学・進路選択で迷っている」、精神障害者保健福祉手帳所有者は「仕事ができない」が最も高くなっています。

市民アンケート調査の詳細な結果は、市 HP に掲載しています。

(URL:[https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\\_006609.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006609.html))

